

case 01

建築

喜多方建設事務所
建築住宅部 建築住宅課

(平成30年度採用)

わたしを表すキーワード

keyword 01

#建築構造

学生時代は建築構造を専攻。普段から「この建物の柱と梁はどのように接合している？」と興味を引かれています。

keyword 02

#スキー派

ウィンタースポーツのスキーとスノーボードを経験。スノーボードではよく転び、おしりが痛くなるのでもっぱらスキー派です。

keyword 03

#めがね

keyword 04

#試験勉強

keyword 05

#こづゆ

5



略歴

H30～H31 土木部 建築住宅課

R2 ～現在 喜多方建設事務所 建築住宅部 建築住宅課

魅力ある建築物で心地よいまちづくりを！

民間建築物の審査や県有建築物の設計・工事の監督、建築や住宅施策の企画などを行います。それぞれ仕事の性質は異なりますが、すべて「建築」に関連する業務のため、共通する知識を活かせる場面があります。また、経験豊富な先輩職員が相談にのってくれるので、安心して仕事を進めることができます。

県職員を目指した理由

県では建築設計業務のみでなく、発注者としての企画や都市計画、住宅施策等にも取り組めることを知り、学生時代に経験した震災からの復興のため、地元福島県に貢献したいと考え、県職員を志望しました。



とある一日のスケジュール

8:30	課内ミーティング	13:00	建築工事の現場確認・立会
8:45	建築基準法に係る協議対応	14:30	工事監理書類のチェック
10:15	建築確認申請の審査	16:00	工事設計図書の作成
12:00	昼休み	17:15	終業

印象に残っている経験・エピソード

令和元年東日本台風災害で被災した、福島県が管理する公営住宅の復旧業務に携わりました。資材やルート確保など、施工者の方々をはじめ、多くの御助力があり、復旧することができました。頭では分かっていたのですが、一人の力では工事が完了しないということを実感した初めての経験でした。



福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



東日本大震災で多くの建物が被災した状況を見て、建築について学ぶことを志しました。その気持ちは今も変わらず、災害時に損壊する建物によって負傷の方がゼロになることを目指し、耐震性が不足している建築物の解消などの課題に取り組んでいきます。

(令和5年3月現在)